



中大江小学校



- 所在地 中央区系屋町2丁目3番14号
- 電話番号 06-6942-0221
- FAX 06-6942-0178
- 校長名 菱田 葉子
- 標準服 有(男・女、夏服・冬服) ■ 集団登校 無
- HP アドレス <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e551122>



学校の概要

本校は、令和5年度に創立150周年を迎える歴史のある小学校です。併設する中大江幼稚園との合同行事や交流学習の推進により、相手の気持ちを考え行動するあたかな心の育成と、主体的に行動できる子どもの育成を図っています。

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果

中大江小	国語	算数
平均正答率(%)	71	73

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません

【概要】
平均正答率は、国語、算数のいずれも、大阪府平均や全国平均を上回った。特に、国語の『話すこと・聞くこと』の領域では大阪府平均を10ポイント以上、『書くこと』の領域では、全国平均を10ポイント以上上回った。学習活動の展開について教員間での共通理解を徹底し、言語活動の充実を図る本校独自の『中大江スタンダード』の活用を継続して進めてきたことの成果が表れていると考える。

【成果と課題、アクションプラン】

<成果と課題>

【国語】 いずれの領域でも全国平均を上回った。言語活動の充実を図るために『中大江スタンダード』の取り組みを継続して行ってきた結果、『話すこと・聞くこと』の領域はもちろん、前回調査時の課題であった『書くこと』の領域でも改善が見られた。ただ、『言語』の領域での漢字を正しく書き直す問題の正答率が低く、漢字や語彙の定着に課題が見られた。

【算数】 いずれの領域でも全国平均を上回った。習熟度別少人数授業に取り組み、子どもたちにより多くの支援を行ってきた結果、知識の定着ができた。一方で、式の成り立ちや意味を説明・記述する問題では、全国平均や大阪府平均は上回っているものの正答率は他の問題と比べて低かった。

<アクションプラン>

- 「めあて」と「ふりかえり」を大切に授業に継続して取り組む。
- 学校教育ICT活用事業拠点校として、主体的対話的で深い学びにつながるICT機器の効果的な活用方法を継続して検証する。
- 教員の指導力を高いレベルで保持するための取り組みや施策の活用を図る。

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果

【平均値】

	握力	上体おこし	長座体前屈	反復横跳び	20mSR
男子	16.76	19.79	36.03	41.55	53.21
女子	16.17	18.20	44.74	41.77	44.54

	50m走	立幅跳び	ソフトボール投げ	体力合計点
男子	8.94	155.61	22.26	56.08
女子	9.34	146.57	13.56	57.94

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません

【概要】

男子女子ともにほぼ全ての種目で全国平均を上回る結果となった。上体起こしとソフトボール投げで全国平均を下回り、男子は反復横跳びも全国平均を下回った。

ソフトボール投げは、学校が校舎増築工事中により運動種目や運動量が制限される中であったので、想定できる結果でもあった。

【成果と課題、アクションプラン】

校舎増築工事により運動できる環境が制限されたため、限定された取り組みとなった。これまでの取り組みの中で継続して『中大江ジョギング』を行ってきたこともあり、『走ること』に重点を置いて3分間走を全学年体育の学習の中で行うようにした。音楽を取り入れて行うことで、児童が楽しんで行うことや授業のルーティーン化を図ることができた。

本校独自に校外活動として4年生から6年生で「ボルダリング体験」を行い児童に好評であった。可能な限り継続して取り組み、児童の握力や柔軟性の向上に努めたい。

運営に関する計画

現状と課題

- ・令和2年度の校内調査で、「毎日の学校生活は楽しい」の項目では肯定的回答が93%、「学校のきまりや規則を守っている」の項目では肯定的回答が92%であり、多くの子どもが安心して安全に学校生活を送っている。
- ・令和2年度小学校学力経年調査では、全ての学年が標準化得点100を上回ることができた。ただ、上位層が増えている反面、下位層も増えていることから二極化が進んでいると考えられる。基礎基本の定着を図り、ボトムアップを図らなければならない。
- ・都心部にある小学校で運動場が狭いため、体育の学習の取り組み方を工夫したり、休み時間に体育館を開放したりしてきた。その結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、全国平均を上回る結果を維持できている。

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

学校の年度目標

- 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を100%にする。
- 令和3年度末の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば当てはまる)」と答える児童の割合を90%にする。
- 令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- 令和3年度の小学校学力経年調査における正答率が市平均の2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- 令和3年度の小学校経年調査や校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、20mシャトルランの平均の記録を、前年度より3回増加させる。

Osaka Metro 谷町四丁目駅④出口 北東 400m



心身ともにたくましい子どもを育てる ～一人一人が輝く中大江を目指して～

学力向上に向けて



グループでの対話

体力向上に向けて

ボルダリング体験



中大江ジョギング



ICT機器の活用



タブレットと大型モニターを使って

園児と1年で
どんぐり拾いに出発



幼小交流



園児と6年で
プールでの水遊び

避難所開設訓練



地域との連携



昔遊びを教えて

出前授業

クルマまるわかり教室



文化体験

能楽堂見学



茶道体験



たてわり活動

全校オリエンテーリング

